

平成28年3月
大竹市議会定例会（第1回）議事日程

平成28年3月25日10時開会

日 程	議案番号	件 名	付 記
第 1		会議録署名議員の指名	
第 2	議案第 1号	平成28年度大竹市一般会計予算	予 算 特 別 (原案可決)
第 3	議案第 2号	平成28年度大竹市国民健康保険特別会計予算	
第 4	議案第 3号	平成28年度大竹市漁業集落排水特別会計予算	
第 5	議案第 4号	平成28年度大竹市農業集落排水特別会計予算	
第 6	議案第 5号	平成28年度大竹市港湾施設管理受託特別会計 予算	
第 7	議案第 6号	平成28年度大竹市土地造成特別会計予算	
第 8	議案第 7号	平成28年度大竹市介護保険特別会計予算	
第 9	議案第 8号	平成28年度大竹市後期高齢者医療特別会計予 算	
第10	議案第 9号	平成28年度大竹市水道事業会計予算	
第11	議案第10号	平成28年度大竹市工業用水道事業会計予算	
第12	議案第11号	平成28年度大竹市公共下水道事業会計予算	
第13		閉会中の継続調査及び審査の申し出について	
第14		議員派遣について	

○会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議案第 1号から日程第12 議案第11号
- 日程第13 閉会中の継続調査及び審査の申し出について
- 日程第14 議員派遣について

○出席議員（16人）

1番	児 玉 朋 也	2番	末 広 和 基
3番	賀 屋 幸 治	4番	北 地 範 久
5番	西 村 一 啓	6番	和 田 芳 弘
7番	大 井 涉	8番	網 谷 芳 孝
9番	藤 井 馨	10番	山 崎 年 一
11番	日 域 究	12番	細 川 雅 子
13番	寺 岡 公 章	14番	原 田 博
15番	田 中 実 穂	16番	山 本 孝 三

○欠席議員（なし）

○説明のため出席した者

市	長	入 山 欣 郎
副	市 長	太 田 勲 男

教 育 長
総 務 部 長
市 民 生 活 部 長
健康福祉部長兼福祉事務所長
建 設 部 長
上 下 水 道 局 長
消 防 長
総務課長併任選挙管理委員会事務局長
企 画 財 政 課 長
産業振興課長併任農業委員会事務局長
自 治 振 興 課 長
社 会 健 康 課 長
上 下 水 道 局 業 務 課 長
総 務 学 事 課 長
監 理 課 副 参 事

大 石 泰
政 岡 修
青 森 浩
正 木 治
大 和 伸 明
平 田 安 希 雄
西 岡 靖
米 中 和 成
吉 岡 和 範
中 川 英 也
吉 田 茂 文
野 島 等
重 本 隆 男
野 崎 光 弘
大 知 洋 一 朗

○出席した事務局職員

議 会 事 務 局 長
議 事 係 長

福 重 邦 彦
三 浦 暁 雄

10時00分 開議

○議長（児玉朋也） おはようございます。定足数に達しておりますので、これより直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程、議案審査報告書について、閉会中の継続調査及び審査の申し出について、議員派遣についてを議席に配付させておきましたが、配付漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（児玉朋也） 配付漏れなしと認めます。

これより直ちに日程に入ります。

~~~~~○~~~~~

#### 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（児玉朋也） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、議長において、8番、網谷芳孝議員、9番、藤井 馨議員を指名いたします。

~~~~~○~~~~~

日程第2～日程第12〔一括上程〕

議案第 1号 平成28年度大竹市一般会計予算

議案第 2号 平成28年度大竹市国民健康保険特別会計予算

議案第 3号 平成28年度大竹市漁業集落排水特別会計予算

議案第 4号 平成28年度大竹市農業集落排水特別会計予算

議案第 5号 平成28年度大竹市港湾施設管理受託特別会計予算

議案第 6号 平成28年度大竹市土地造成特別会計予算

議案第 7号 平成28年度大竹市介護保険特別会計予算

議案第 8号 平成28年度大竹市後期高齢者医療特別会計予算

議案第 9号 平成28年度大竹市水道事業会計予算

議案第10号 平成28年度大竹市工業用水道事業会計予算

議案第11号 平成28年度大竹市公共下水道事業会計予算

○議長（児玉朋也） 日程第2、議案第1号平成28年度大竹市一般会計予算から日程第12、議案第11号平成28年度大竹市公共下水道事業会計予算に至る11件を一括議題といたします。

本11件に関し委員長の報告を求めます。

予算特別委員長、山崎年一議員。

予算特別委員会議案審査報告書

平成28年3月11日、第1回定例会において本委員会に付託の議案は、審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第110条の規定により報告します。

記

| 議案番号 | 件名 | 審査の結果 |
|--------|-------------------------|-------|
| 議案第1号 | 平成28年度大竹市一般会計予算 | 原案可決 |
| 議案第2号 | 平成28年度大竹市国民健康保険特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第3号 | 平成28年度大竹市漁業集落排水特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第4号 | 平成28年度大竹市農業集落排水特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第5号 | 平成28年度大竹市港湾施設管理受託特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第6号 | 平成28年度大竹市土地造成特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第7号 | 平成28年度大竹市介護保険特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第8号 | 平成28年度大竹市後期高齢者医療特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第9号 | 平成28年度大竹市水道事業会計予算 | 原案可決 |
| 議案第10号 | 平成28年度大竹市工業用水道事業会計予算 | 原案可決 |
| 議案第11号 | 平成28年度大竹市公共下水道事業会計予算 | 原案可決 |

平成28年3月16日

大竹市議会議長 児玉 朋也 様

予算特別委員長 山崎 年一

〔予算特別委員長 山崎年一議員 登壇〕

○予算特別委員長（山崎年一） 去る3月11日の本会議におきまして、私ども委員8名で構成されました予算特別委員会に御付託いただきました平成28年度大竹市一般会計予算ほか10件の議案につきましては、14日、15日、16日の3日間、委員会を開催し、その結論を得ておりますので、委員会審査の概要と結果につきまして御報告申し上げます。

3月11日の本会議終了後に開催されました第1回予算特別委員会におきまして、不肖私、山崎が委員長に、副委員長に網谷委員が互選されました。身に余る大役を務めさせていただき、委員各位の御協力により本日報告の運びとなりましたことに対しまして厚く御礼申

上げます。

審査の内容について御報告いたしますが、3日間にわたる質疑応答や御意見など膨大なものとなっておりますので、要約しての御報告となりますが、御了承いただきたいと思っております。

初めに第1款議会費につきましては、質疑はございませんでした。

続きまして第2款総務費では、まず「職員研修事業の具体的な内容について伺う」との質疑に対しまして、「公務員中央研究所あるいはアカデミー、県の研修センター等に派遣する研修がある。また、大竹市独自の研修として今年度は主に人事評価の評価者研修を行っているが、例年ハラスメント研修、接遇研修等を行っている。来年度は予算を増額し、評価者研修とあわせてこれらの研修にも積極的に取り組んでいきたいと考えている」との答弁がございました。

次に、「現在、小方橋北詰交差点、小方学園出入り口の交差点の信号は、いずれも歩車分離型となっている。この信号になってから非常に渋滞している。住民を守るため、交通安全の観点から仕方がないことだと思うが、どのように考えているのか伺う」との質疑に対しまして、「小方学園の出入り口の交差点については、旧大願寺を造成するときに地元の方と協議したと聞いている。小方橋北詰交差点については混雑が厳しいということで、5月中旬ごろに警察が信号の時間を調整したと聞いている。渋滞については承知しているが、保護者から安全になってよかったという声もある。警察には、通学時間だけ歩車分離を変えるということができないか聞いてみたが、難しいということで現時点では、いたし方ないと考えている」と答弁がございました。

次に、「大竹高校に期日前投票所を置くことを選挙管理委員会で検討できるか伺う」との質疑に対しましては、「学校内で期日前投票を行うというのは、教育の観点から非常に有意義だということは認識しているが、実施には幾つかの課題もある。ことしの夏の参議院選挙から市内を巡回する形で期日前投票所の増設を試行する予定。大竹地区は、大竹会館で2回実施を予定している。大竹高校にも近いため期日が近づけば学校と連携し対象となる生徒に利用していただけるよう啓発を行いたい。なお、今回の意見については、選挙管理委員会にて報告しておく」との御答弁がございました。

続きまして第3款民生費では、まず「障害者の子供を持つ保護者にとって、自分が亡くなった後の子供のことは大変気がかりである。大竹市にグループホームをつくるなど行政と社会福祉協議会が一体となった取り組みはできないのか、また、さつき作業所の雨漏りが修繕されず、耐震改修もされない。ついては、福祉に対する考えを伺う」との質疑に対しまして、「現在さつき作業所の問題やグループホームのことを含め、地域生活支援拠点など、どのようにしていくかについては社会福祉協議会、市内障害福祉関係機関が委員となっている大竹市地域自立支援協議会の地域生活部会で、これから当事者や関係者で協議していくところである。また、市は平成27年3月に第2次障害者基本計画、第4期障害福祉計画を作成した。第4期障害福祉計画の中では、平成29年度を目標に地域生活支援拠点等の整備を重点的に取り組み事項としている。障害福祉が理想形に近づくよう努力していきたい」との答弁がございました。

次に、「子ども医療費の助成の拡充について大変評価しているが、医療費を中学生まで一部負担ありにした場合と完全に無料にした場合との差額は。また、一部負担ありに至った経緯を伺う」との質疑に対しまして、「中学生まで一部負担ありの場合には追加費用が1,100万円程度、完全無料化の場合には4,200万円程度となり、差額は3,100万円である。無料にすると受診回数が増加する懸念があるため、まずは一部負担で実施させていただきたい」との答弁がございました。

次に、「子ども・子育て支援事業計画にもある認定こども園について、現在の状況、保護者のニーズ及び保育のニーズを踏まえた今後の方針について伺う」との質疑に対しまして、「民間保育については、数年後を見据えて認定こども園への移行の動きがある。今後、実際に認定こども園への移行ということになれば、子ども・子育て会議で保護者等の意見を伺った上で、国の制度を踏まえ民間保育所等への施設整備等の支援や必要な手続等に関する相談に応じていきたいと考えている」との答弁がございました。

続きまして第4款衛生費では、まず「廿日市市との可燃ごみ広域処理について、経費の面で中継施設をつくらずにパッカー車で直接廿日市市に搬入することはできないのかを伺う」との質疑に対しまして、「本市ではごみステーションからごみを収集する場合、通常2トン車両を使用している。単純計算すると約15台のパッカー車で廿日市市へ搬入することにもなる。廃棄物の受け入れをするという廿日市市民の感情にも本市としては配慮しなければならない。よって搬入頻度を少なくするため10トンのパッカー車で1日3回程程度の搬入を計画している」との答弁がございました。

次に、「肺炎球菌ワクチンについて、平成30年度までは65歳から5歳ずつ10歳までの接種、平成31年度からは65歳だけの接種となる。高齢者の肺炎は、直接死につながる可能性があるためワクチンが重要視されている。市広報でお知らせするだけでなく、対象者個人にしっかりと勧奨してほしい。考えを伺う」との質疑に対しまして、「今以上に積極的に勧奨していく」との答弁がございました。

続きまして第5款労働費では、「総務省の統計調査等によると、各家庭において消費支出が落ち込んでおり、実質で2%以上減少しているとのデータもある。平成26年4月の消費税増税以降、勤労世帯は大変厳しい状況が続いていると言われていたが、市内企業の賃上げ状況について伺う」との質疑に対しまして、「いわゆる大手企業ではベースアップ等があるが、中小企業においてはなかなか賃上げに結びついていないのが実態であると考えている。市においては、例えば平成26年度に技能習得や講習会を行う経営改善塾等に対して支援を行い、中小企業の受注機会の向上に資するよう努めているところであるが、賃金上昇につなげることはなかなか難しいとのアンケートの回答もあった」との答弁がございました。

続きまして第6款農林水産業費では、まず「広島の森づくり事業は納めている県民税を財源として展開されている。本市において、どのような形で還元されているか伺う」との質疑に対しまして、「広島の森づくり事業は全額広島県の交付金で実施している。平成28年度は玖波小学校の机と椅子を県産材により納入することや、またマロンの里の散策路、遊歩道をこの事業で整備するよう計画している。森づくり事業は山林の保水力を高め国土

を保全する事業である。今後も人工林の間引き等を通じ水源涵養に努めていきたい」との答弁がございました。

次に、「あたたハマチto(と)レモン事業をどれぐらいまで全国に広げていくのかといった目標及び手段、また事業として成立するのはどのようになったときか伺う」との質疑に対し、「あたたハマチto(と)レモンは各方面からおいしいと評価をいただいている。現況は補助事業であり、生産者の事業として成立しにくい状況ではないかと考えている。行政としても例えば給食で利用されれば大量消費につながり、サンプルを送ったりしており、民間でできること、行政でできることを区別しながら応援していきたい。多くの養殖業者が参加していただくよう期待している。また、具体的に事業として成立する生産量については、行政としては持ち合わせていないが、生産者自身が目標を立てるべきであると考えており、この補助事業により品質を保つ養殖技術は、ほぼ確立できたと考えている。市としては、このあたたハマチto(と)レモンを1つのキーとして大竹の魚のブランド力が広がっていけば市場における取引が有利に働くようになる。そういった思いでこの事業に取り組んでいる」との答弁がございました。

続きまして第7款商工費では、まず「商店街等振興奨励事業商店活性化補助金の具体的内容、また大竹駅周辺のにぎわい創出について何か策があるか伺う」との質疑に対し、「平成27年度に大竹市商店街連合会に委託して実施した地方創生商店活性化事業のワークショップで出されたアイデアや意見を参考にし関係団体と連携して事業を行うものであり、後継者の育成や地場産業の創造など大竹地域産業振興センター等と協力しながら、商店の活性化につながる事業に取り組んでいく。大竹駅前のにぎわい創出のためにも、さまざまなイベントを通じて人を呼び込むことを大竹商工会議所等とともに取り組んでいきたい」との答弁がございました。

次に、「観光に関する予算が組まれているが、本市における観光の目的及びその方向性について伺う」との質疑に対し、「本市は観光に関し廿日市市、岩国市、広島市とは明らかに状況が異なり、産業として成立することは難しいと考えている。しかし、本市にもよい所がたくさんある。その場所に行って安らぐことができる、華やぐことができる、あるいは憩うことができるといったように、市民や近隣の方々に何度でも足を運んでいただけるようにしていきたい」との答弁がございました。

続きまして第8款土木費及び第11款災害復旧費は関連がありますので一括して審査をいたしました。本2件の審査では、まず「市道の整備、改良事業について優先順位の定義を伺う」との質疑に対し、「笹子トンネル天井板落下事故に代表されるように道路事業の大きな傾向は老朽化対策となっている。優先順位の定義は特にはないが、当面は道路施設の老朽化対策、交通安全対策、過去からの継続事業が大きな柱となる」との答弁がございました。

次に、「御園6号棟について、木の高さを考慮すると冬至の日には日の当たらない部屋もある。土砂災害については対策を行うが日照権は考慮されていない。建設し入居されないようならば、市としても損害である。なぜ急いで条件の悪い場所に建設するのか伺う」との質疑に対し、「過去の住宅計画からここに建てるということで準備を進めてき

た土地である。御園2、3号棟の方へのアンケートでは、77%の方が6号棟への入居を希望されている。もしも入居されないようなことならば、使い方を工夫するなど考えていきたい」との答弁がございました。

次に、「空家等対策計画策定業務委託料が予算化されている。計画策定まで市の職員で行うことができないのか、委託の必要性を伺う」との質疑に対しまして、「内容にもよるが、職員の能力によってできる可能性もある。しかしながら、職員は人数が少ない中でかなりの事業量を持っている。比較的単純な作業などは委託に頼り、職員の業務量を減らす工夫をしている。今回の委託は職員の負担を減らすという意味も含まれている」との答弁がございました。

続きまして第9款消防費では、まず「阿多田防災コミュニティグラウンド整備工事について伺う。また以前、阿多田外深浦地区に計画していた防災公園は今後どうするのか伺う」との質疑に対しまして、「この工事は旧阿多田小学校グラウンド災害時の一時避難場所にするため整備するものであるが、平常時には住民にコミュニティグラウンドとして軽スポーツやレクリエーションにも使っていただく予定である。外深浦地区については、一部の地権者の了承が得られなかったため事業を休止中であるが、防衛局と正式に中止に向けて協議しているところである」との答弁がございました。

次に、「広域消防救急体制についての考えを伺う」との質疑に対しまして、「平成20年3月に広島県消防広域化計画が示され、西部ブロックとして6市町の広域化が示されたが、現在まで進展がない状況である。しかし、近隣の廿日市市とは松ヶ原地区及び広原地区の救急応援を初め協力できるところは協力し、相互に市民の安全を守っているところである。また、大規模災害の際には、広島県内の消防相互応援協定に基づき、各消防本部が連携し応援できる体制が整っている。これからも消防業務の効率化を図るため周辺市町と協力できるところは協力し、広域化について調査研究を進めていきたい」との答弁がございました。

次に、「大竹市は消防団員の手当、報酬が低いという声を聞くが、近隣市の状況また消防団の消防車の耐用年数と年数を超えた消防車の台数を伺う」との質疑に対しまして、「現在消防団員の報酬は年額1万8,500円。廿日市市が2万6,000円。広島県全体の平均が2万765円であり、23市町の中で高いほうから13番目の金額であるので平均的な金額だと認識している。消防団の消防車の耐用年数は15年である。しかし、財政的なこともあり20年以上経過している車が5台ある。車両などは担当が整備しながら使っており、今のところ問題はないが順次更新を考えている」との答弁がございました。

続きまして第10款教育費では、まず「大竹の手すき和紙は保存会によって伝統を引き継いでいる。最近、若い後継者の方が技術の継承に取り組んでいるという話もあるが、大竹の伝統事業として少しずつでも発展させるような考えはあるのか。大竹の手すき和紙保存の取り組みについて伺う」との質疑に対しまして、「手すき和紙の後継者を目指す方が広島から大竹に引っ越してきて精力的に取り組んでいただいている。手すき和紙については、毎年1月に実施している書初め大会での使用や、女性グループが和紙の小物を作成するなど、みんなで知ってもらうための取り組みを実施している。また、保存会の方が高齢化し

保存継承が難しいという中で、平成27年に手すき和紙サポーターズもできた。手すき和紙を保存しながら大竹の文化としてどのように残していくか、保存会の方や和紙サポーターズの方と一緒に考えている」との答弁がございました。

次に、「市内各中学校の高校への推薦基準はどのような内容なのか。また、中学1、2年生時の問題は関係してくるのか伺う」との質疑に対しまして、「学校によって違いはあるが、基本的には社会のルールが守れる。高校に進学しても学校の決まりが守れて教員の指導がしっかり聞ける。学力面においてある程度の力を有しているといった基準がある。また、3つの中学校とも中学1年生、2年生の問題は推薦の基準にはしておらず、3年生のときの問題のみ推薦に取り上げることにしている」との答弁がございました。

次に、「大竹会館の改修事業について、職員で改修計画を策定することもできるのではないかと考えるが、そういう発想はなかったのか。この業務をどこに委託するのか伺う」との質疑に対しまして、「職員で計画することも検討したが、大竹会館の旧館部分を崩してしまうと、新館部分は下が空洞になり耐震の構造計算が必要であることから専門的な知識を有する建築コンサルタントへの委託を予定している。また、最終的に2階部分の管理をどうするかは設計してからの問題になってくるが、経営的な見方のできる経営に関する知識を有するコンサルも入れて委託する形を想定している」との答弁がございました。

続きまして第12款公債費、第13款予備費については質疑はございませんでした。

続きまして歳入における一括質疑では、まず「ふるさと納税の取り組みについて、自治体によってはそれぞれの課題や特色を生かし、その事業に対する理念を持ってふるさと納税を進めているところもあるが、本市においてその事業に賛同し、理念を持ってふるさと納税を集めるという考え方を研究したか伺う」との質疑に対しまして、「本市においては返礼品を持ってふるさと納税を募るということはしてこなかった。このたびまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定したことを契機に、地方創生事業を推進していく財源としての活用と、返礼品により市内産業の振興に寄与し、また市の魅力の発信という思いを持ってふるさと納税、返礼品の取り組みを進めることとした」との答弁がございました。

次に、「資産の活用という考え方で、以前市役所や大竹会館などの駐車場の有料化について検討してみるとのことであったが、その後の状況について伺う」との質疑に対しまして、「本庁舎についてであるが、公共交通機関が不便で多くの職員が通勤に自家用車を利用している状況であり、職員に対して今のところ駐車場の有料化という考えは持っていない」との答弁がございました。

続きまして、歳入歳出全般にわたる総括質疑では、まず「将来負担比率は順調に改善されていたが、改善幅が縮小しているようである。その要因と大竹駅、小方駅など大型事業を進めていく上で今後の見通しについて伺う」との質疑に対しまして、「改善幅が少なくなった要因として繰り越し予算による計算上の仕組みによるものがある。実情では、順調に改善されている。平成29年度以降、予定される大型事業もあるが、確実に市全体の地方債残高は減少してくるものと見ている」との答弁がございました。

次に、「財政推計から見る今後の人件費の見込みについて、ここ四、五年で1億8,000万円ぐらい減る傾向が見られるが、要因として職員数の減少と捉えていいのか。また、職

員数の減により確実に職員一人一人の業務量はふえてきているが、組織として職員のメンテナンス力の維持向上に向けた考え方を伺う」との質疑に対しまして、「財政推計における人件費について、職員数については現状維持で推計している。減っている要因は、退職手当負担金について、平成32年以降少なくなっているのが大きな要因である。職員一人一人の業務量は確実に上がってきており、いかにやる気を支える職場づくりができるか。また、何事も組織で考え組織で取り組むことがメンテナンス力の向上につながると思う。行政組織の変革期に求められる職員の能力も変わってきており、人事評価制度の導入により市役所の財産である人材をより高めていき、少なくなった人員でも対応できる体制にしていきたい」との答弁がありました。

続きまして特別会計及び企業会計予算の審査における主な質疑・答弁を審査した会計順に御報告申し上げます。

大竹市国民健康保険特別会計、大竹市介護保険特別会計、大竹市後期高齢者医療特別会計の3件につきましては、関連がありますので一括して審査を行っております。

本3件の審査では、まず「給付費の中で高額療養費がふえていると感じるが、要因をどう捉えているのか伺う」との質疑に対しまして、「高額療養費はここ五、六年で増加している。要因としては入院患者の数がふえたこと、また短期入院が促進され、退院後は薬による自宅療養に移行したことで調剤費が伸びてきたと推察される」との答弁がございました。

次に、「医療費が高く、調剤費も伸びているとのことであるが、後発医薬品の勧奨はどういう取り組みをしているのか伺う」との質疑に対しまして、「平成25年1月から差額通知を対象者に送付し勧奨している。平成28年1月までの37カ月間で約1万3,000通を送付し、削減効果は延べ4,800万円である」との答弁がございました。

続きまして大竹市港湾施設管理受託特別会計、大竹市土地造成特別会計では質疑はございませんでした。

続きまして大竹市水道事業会計、大竹市工業用水道事業会計につきましては、関連がありますので一括して審査を行っております。

本2件の審査では、まず「大竹市指定給水装置工事事業者は98社である。工事店の所在地を見ると遠いところでは大阪や横浜も含まれている。なぜこのようなことになっているのか伺う」との質疑に対しまして、「給水装置工事事業者の指定の要件に、営業所の所在地は含まれていない。新築工事等の際に登録する業者が多い」との答弁がございました。

次に、「平成26年11月の生活環境委員協議会で、上水道の耐震診断結果の資料が配付されているが、設備が古く補強を要するものがたくさんある。今後の取り組み、考え方を伺う」との質疑に対しまして、「水道ビジョン等を計画し順次取り組んでいる」との答弁がございました。

続きまして大竹市公共下水道事業会計、大竹市漁業集落排水特別会計、大竹市農業集落排水特別会計につきましては、関連がありますので一括して審査を行っております。

以上で全ての会計の質疑を終結し討論に入りました。一般会計では、反対・賛成の立場でそれぞれ1名の委員から討論がございました。まず反対の立場では、「全体的に厳しい中での予算であると理解はしているが、一般会計が関連した事業で係争中の件もあり、反対せざるを得ない」との内容でございました。次に賛成の立場では、「これからの行財政運営に関してのしっかりとした心構えや人事評価制度等に対する決意についても、しっかりと果たしてもらえると感じ賛成である」との内容でございました。

討論を終結し、起立採決の結果、一般会計当初予算案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

続きまして特別会計及び企業会計の10件では、土地造成特別会計について反対・賛成の立場でそれぞれ1名の委員から討論がございました。まず反対の立場では、「一般会計での反対討論と同様の理由により反対する」との内容でございました。次に賛成の立場では、「小方ヶ丘の日常の生活の中でストック効果、成果が順調に育つことを期待して賛成とする」との内容でございました。

以上で討論を終結し、土地造成特別会計を除く9件の特別会計及び企業会計は、簡易採決により、いずれも可決すべきものと決しています。

また、土地造成特別会計は、起立採決により可決すべきものと決しています。

以上が予算特別委員会での平成28年度各会計当初予算案11件の審査経過の概要と結果でございます。3日間にわたった予算特別委員会では、委員各位による慎重かつ熱心な審査が行われ円滑な運営を進めることができました。執行部におかれましては、審査の過程で出されました意見や提案について十分検討され、予算執行されるよう要望いたします。

終わりに連日にわたって説明をいただきました執行部の皆さんに厚くお礼を申し上げます。

以上で委員長報告を終わります。

○議長（児玉朋也） ただいまの委員長の報告に対し、これより一括質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（児玉朋也） 質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

これより一括討論に入ります。討論はありませんか。

11番、日域 究議員。

○11番（日域 究） 私は、一般会計と土地造成特別会計について反対の立場で討論させて

いただきます。

基本的には、今、係争中ですから。その係争中のものを毎年繰り越していつてるわけですから、それが主たる理由です。ただ、それに増して、この前の9日の私の一般質問でこういうことがありました。平成22年の大願寺の公募売却において、途中で募集要項が変わっていることを言いました。当時の青森監理課長はプロポーザル方式とは何かという質問に対して、随意契約のたしか準備行為と言ったかな、だということでした。本来、随意契約は禁止されてます。ただ、内容によっては公募という形をとることによって、それが癒やされるというか、一般競争入札に準ずるといふふうに解釈されているんだと思います。しかし、あのときの一般質問の答弁は、公募に応募しようとした1業者から打診があった。それ以上はもう応募はないものと判断して、その打診をした業者の意向に沿うように募集要項を変えたと言われました。そうすると公募ではなくなりますよね。それを職員こぞって、皆さんがそれにおそろいで印鑑を押して、正式に変えてしまってますね。これは正式に公募ではありませんと宣言したようなものです。それを堂々と認めていただいて、私は非常にすっきりしましたが、このことはこれから何か大きな意味を生んでくると思っております。

大願寺のことについて、大竹市の財政にいろんな影響を与えています。それはこの前の売却だけじゃありませんよ。もともとの問題もあるんですけどもね。予算委員会なんか聞いてまして、以前500億円の借金があるという話から、この10年ぐらいいは大竹市の財政がそういう見方をされてました。最近、少し減って400を切った、よかったという話もありますけども、大願寺由来の借金が98億円あります。この前の予算委員会で答弁がございました。127億円からスタートしましたから、まだ30億円は減ってないですね。市の予算、財政を云々するときには、この財政の仕組みを理解した上で口にしてほしいんですけども、真水98億円をつくり出そうと思ったら、国の補助金とか一般的にありますから約200億円の事業を我慢しないと100億円という純粋なキャッシュは出てこないですね。だから一生懸命借金を返してるのは、これは一般のローンですよ。学校であったり道路であったり水道であったり、そういうものは当然契約どおり順調に減ってますけども、一番厄介な大願寺の借金はなかなか減りません。大竹市の財政のことを言えば悪性腫瘍ですよ。悪性腫瘍である大願寺の借金は、この10年間かけて4分の1減ったかどうかというところです。まだ先は長いです。理解もせずに楽観したようなことを言わないでほしい、そう思います。それが大願寺のことです。

もう1つは御園6号棟の問題です。市の皆さんは、ちゃんと説明会を開いて説明して、そしてアンケートしたら多数の人が6号棟に行きたいと言ってくれた。それ自体は私は見てませんが、そうかもしれない。でも、あのときに土砂法のことなければ、家賃のことなければ、ましてやあのときは日が当たらないという話では出ませんでしたから当然そんな説明はありませんよね。そういう中で、しかも2号棟、3号棟がなくなるとしたときに、どこへ行きたいですかという内容のアンケートですから、6号棟という人がある程度いても当たり前だと思います。それよりも、あそこに居続けたいという請願が出ましたよね。あれについては一切触れてない。住民の意向を全く酌んでないというのは私はい

かなものかと思います。あそこに岩国大竹道路がかかる話は、もう昔から決まっていた。時間はたくさんありました。いろんな話がありましたよね、市営住宅どうするという。かといってすぐ道路ができるわけではありません。時間はあるはずなんです。その中において唐突に建てかえの話が出てきて、それでさっと決まってしまう。非常に不自然に感じます。

ちょっと教育のことも言ってみたいと思うんですけども、最近、広島県発のよくない全国ニュースが連続してますけども、その1つが府中町の緑ヶ丘中学校の生徒の自殺です。専願受験なんて私は聞いたことがないですけども、ああいう変なことをやっているのかと思いました。同じ県内の大竹市ですから、大竹市も多分同じことをやってるのかもしれませんけども、専願受験で子供たちの行き先をやりくってるうちに、つじつまが合わなくなったのではないかなど。これは全く私の勝手な想像ですけども、大願寺の話なんかと私から見たら一緒に見えるところがあるんですね。土地は一般競争入札で売るとなってるんですよ、基本は。高校は義務教育じゃありませんから一般入試でやりゃいいんですよ。オリンピックの代表選考のときに世間ががたがた言うじゃないですか。ああいう中でごちゃごちゃやって決めるというのは、日本のあしき文化なんです。一般競争入札で土地は売る。学校は入学試験は、義務教育じゃないんですから、例外的な場合を除いて入試でいいじゃないですか。

この前、大竹小学校の卒業式に参加させてもらいました。あのときは市長も教育長もおられませんでしたけど、1つすごく印象に残っていることがあります。別れの言葉というのかな、子供たちが順番に大きい声でしゃべるのがありますね。あの中に、合い言葉は、真剣、本気、全力です、漢字で書けば。真剣、本気、全力。彼らがそれをどう読んだか。マジ、ガチ、フルパワーと読んだんですよ。私うまいなと思って感心しました。大学入試は、共通試験ですね。フェアですよ。何で高校入試だけ、あんな裏工作するんか。あの6年生、大竹小の今回卒業した子供たちのマジ、ガチ、フルパワーをぜひ肝に銘じてほしいと思います。いい大人がそろって裏でごちゃごちゃやるのは本当に醜いです。これからぜひガチンコで行ってほしいと思います。

それで、一般会計予算は難しいんですけども、去年の決算委員会のときに私がお願いした阿多田フェリーの運賃助成ですけども、あれは早速予算に入っていました。非常に高く評価いたします。ありがとうございますと言いたいんですけども、それがありますが、あえて私は土地造成特別会計と一般会計に反対という態度をとらせていただきたいと思います。

以上です。

○議長（児玉朋也） 他に討論はございませんか。

8番、網谷芳孝議員。

○8番（網谷芳孝） 私は一般会計、特別会計全ての会計予算に対し賛成の立場で述べさせていただきます。

今回の28年度予算編成に当たっては、第五次大竹市総合計画に挙げる笑顔・元気がややく大竹、住みたいまち大竹を目指し、地方創生事業の推進をするために大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかわる事業など盛り込まれているようでございます。また、

一言触れておきますと、特に土地造成特別会計予算関連ですが、毎回いろいろな議論がされていますが、小方学園前方に広がる住宅地はほぼ完売され、一時的ではございますが人口増加に転じたという報告もされております。私は大成功だったと今でも信じております。また、今回の当初予算ですが、大変厳しい財政状況の中で、新規事業または事業の拡大など要所要所に的確な予算づけがされており、また大規模な建設事業などには国・県などの補助金などをフルに活用しながら市債の発行額を極力抑え、将来的にも大きな負担は残さない、このような配慮がなされてるように思われております。

市の借金でございます市債のほうでございますが、少しずつではあります減少してきているようでございます。そのようなことから、これからも財源と相談しながら必要な事業をしっかりと計画を立て、予算化されたものは確実に実行しながら、第五次大竹市総合計画の基本計画でございます笑顔・元気がやく大竹、住みたいまち大竹の標語にふさわしいまちづくりに向けて努力していただければと思います。

以上をもちまして一般会計、特別会計の全ての会計予算に対する賛成討論とさせていただきます。

○議長（児玉朋也） 議事の都合により暫時休憩いたします。

~~~~~○~~~~~

10時43分 休憩

13時00分 再開

~~~~~○~~~~~

○議長（児玉朋也） 休憩前に引き続き会議を開きます。

午前中の予算特別委員長の報告の中で平成28年度大竹市公共下水道事業会計予算、平成28年度大竹市漁業集落排水特別会計予算及び平成28年度大竹市農業集落排水特別会計予算の3会計について、会議規則第65条の規定によって、委員長報告のうち審査の質疑応答部分につきまして多岐にわたり誤りがあり、発言を取り消したいとの申し出がありました。

お諮りいたします。発言の取り消しを許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（児玉朋也） 御異議なしと認めます。よって予算特別委員長から発言の取り消しを許可することに決定いたしました。

それでは、取り消した部分について正しい報告をお願いいたします。

予算特別委員長、山崎年一議員。

○予算特別委員長（山崎年一） それでは、先ほど御報告いたしました平成28年度大竹市公共下水道事業会計予算、平成28年度大竹市漁業集落排水特別会計予算及び平成28年度大竹市農業集落排水特別会計予算につきまして、取り消しさせていただいた部分について改めて御報告を申し上げます。

本3件の審査では、「防鹿地区において下水道工事が進められており、平成30年度に工事完了と聞いているが、進捗状況について伺う。また、防鹿地区に下水道工事が完成すれば、市内の主な地区においては公共下水道が完備されたと考えてよろしいか伺う」との質疑に対しまして、「国の交付金の内示状況により変わってくると思われるが、防鹿地区の

下水道工事については、現在のところおおむね順調に進んでいると認識している。また、防鹿地区が完成すれば、下水道計画区域においては、おおむね整備が終わることになる」との御答弁がございました。以上でございます。

最後に、このたびは大変御迷惑をおかけしましたことを心よりおわび申し上げます。

○議長（児玉朋也） ただいまの報告について質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（児玉朋也） 質疑なしと認めます。以上で質疑を終結いたします。

これより午前中の討論を続行いたします。

この際、念のためお伝えしておきます。

日域議員及び網谷議員については、討論を終了しております。先ほどの取り消した部分についての正しい報告に対して討論があれば、お受けいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（児玉朋也） 討論なしと認めます。よって日域議員及び網谷議員の討論は終了いたします。

そのほかの議員で討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（児玉朋也） 討論なしと認めます。以上で討論を終結いたします。

ただいま議題となっております本11件のうち、議案第1号平成28年度大竹市一般会計予算、議案第6号平成28年度大竹市土地造成特別会計予算を除く9件を一括採決いたします。

本9件に対する委員長の報告はいずれも原案可決であります。本9件は委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（児玉朋也） 御異議なしと認めます。よって本9件は原案のとおり可決されました。

続いて議案第1号平成28年度大竹市一般会計予算を起立により採決いたします。

本件に対する委員長の報告は原案可決であります。本件は委員長の報告のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（児玉朋也） 起立多数と認めます。よって本件は原案のとおり可決されました。

続いて議案第6号平成28年度大竹市土地造成特別会計予算を起立により採決いたします。

本件に対する委員長の報告は原案可決であります。本件は委員長の報告のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（児玉朋也） 起立多数と認めます。よって本件は原案のとおり可決されました。

~~~~~○~~~~~

### 日程第13 閉会中の継続調査及び審査の申し出について

#### 閉会中継続調査申出書

本委員会は、所管事務のうち次の案件について、閉会中もなお継続調査を要するものと決定したので、会議規則第111条の規定により申し出ます。

## 記

| 調 査 案 件  | 理 由          |
|----------|--------------|
| 公共交通について | 継続して調査を要するため |

平成28年3月3日

大竹市議会議長 児玉 朋也 様

生活環境委員長 細川 雅子

## 閉会中継続審査申出書

本委員会は、審査中の陳情について下記により閉会中もなお継続審査を要するものと決定したので、会議規則第111条の規定により申し出ます。

## 記

| 番 号            | 件 名                | 理 由                               | 付託年月日     |
|----------------|--------------------|-----------------------------------|-----------|
| 平成27年<br>陳情第2号 | 小方小学校移転跡地に「公園」設置陳情 | 旧小方小・中学校跡地の利活用の動向を踏まえて審査する必要があるため | 27. 9. 29 |

平成28年3月4日

大竹市議会議長 児玉 朋也 様

小方地域まちづくり対策特別委員長 細川 雅子

○議長（児玉朋也） 日程第13、閉会中の継続調査及び審査の申し出についてを議題といたします。

生活環境委員長及び小方地域まちづくり対策特別委員長から目下各委員会において調査及び審査中の事件につき会議規則第111条の規定によりお手元に配付いたしました申出書のとおり、閉会中の継続調査及び審査の申し出があります。

お諮りいたします。各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査及び審査に付することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（児玉朋也） 御異議なしと認めます。よって各委員長の申し出のとおり、閉会中の継続調査及び審査に付することに決しました。

~~~~~○~~~~~

日程第14 議員派遣について

○議長（児玉朋也） 日程第14、議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。議員派遣については、お手元に配付いたしましたとおり、派遣する

ことに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（児玉朋也） 御異議なしと認めます。よって議員派遣につきましては、お手元に配付いたしましたとおり、派遣することに決しました。

この際、お諮りいたします。ただいま決定いたしました議員派遣の内容につきましては、諸般の事情により変更が生じる場合には議長に一任をお願いいたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（児玉朋也） 御異議なしと認めます。よって諸般の事情により変更が生じる場合には議長に一任することに決しました。

お諮りいたします。議決されました各案件につきまして、その条項、字句、数字その他の整理を要するものにつきましては、その整理を議長に委任されたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（児玉朋也） 御異議なしと認めます。よって条項、字句、数字その他の整理は、議長に委任することに決定いたしました。

この際、御通知いたします。本日、本会議終了後、直ちに第1委員会室において議員全員協議会を、その終了後、議長室において各派代表者会議を開催いたします。関係者は、お含みの上、御参集をお願いいたします。

以上をもって本日の日程は全部終了いたしました。

定例会閉会に当たり市長から挨拶があります。

市長。

〔市長 入山欣郎 登壇〕

○市長（入山欣郎） 本日ここに大竹市議会定例会を閉会するに当たりまして御挨拶を申し上げます。

このたびの定例会は、去る3月2日に開会され、本日までの24日間、議員各位におかれましては、御提案申し上げました各案件を終始熱心に慎重に御審議いただきましてまことにありがとうございました。

平成28年度の当初予算を初め、いずれの案件につきましても原案のとおり議決あるいは認定を賜りました。心より厚く御礼を申し上げます。なお、本会議並びに各委員会などにおきまして皆様からいただきました有用な御意見や御要望につきましては、これを十分に検討させていただきまして今後の市政運営に反映させてまいりたいと考えております。

以上、閉会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（児玉朋也） これにて本日の会議を閉じ、第1回大竹市議会定例会を閉会いたします。

13時09分 閉会

(28. 3. 25)

上記、会議のてんまつを記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成28年3月25日

大竹市議会議長 児 玉 朋 也

大竹市議会議員 網 谷 芳 孝

大竹市議会議員 藤 井 馨